

# 寺子屋塾受講生募集プログラム

あなたも共に学んでみませんか

年齢性別学歴に関する条件は一切ありません

講座期間：2014年10月7日(火)～2015年3月28日(土)

2014年度：後期

## 寺子屋塾案内

人生は二度ありません。この一回限りの人生で、いま一度静かにゆっくりと学問をしてみませんか。これまでいろいろな事情で学問に触れる機会を逸したり、やり残した人達が集まって、楽しく素晴らしい学問世界を創造しようではありませんか。

学問は大学でなければやれないものではありません。若くなくてもやれないものでもありません。世代を超えて学ぶことが出来るものです。

日常的思惟から普遍的なものへ、それぞれの道を経て自分をとり戻せればと思います。少人数で膝をつきあわせて読み、書き、語り、愉快的人生をきりひらくための場を提供したいと思います。年齢その他一切問いません。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

## 後期開講講座一覧

- ① 歌をとおして現代の人間と文化について考える
- ② ハワード・ジン『民衆のアメリカ史』を読む
- ③ オールド上海を訪ねて-実作映画で迎える中国現代史
- ④ マックス・ヴェーバーの世界
- ⑤ 大阪のまち・魅力発見-古地図片手に大阪のまちあるき
- ⑥ 現代資本主義を読む-現代資本主義の危機の地理学的・空間的展開
- ⑦ マルティン・ハイデガー『存在と時間』を読む
- ⑧ 西田幾多郎とその時代2-「自覚」と大正時代
- ⑨ 『源氏物語』を原文で楽しく読む

講座内容は、次頁をご参照ください。

初日無料体験受講ができます。

申込締切日：2014年10月6日(月)

お申込み・体験受講等詳しくは、裏面をご覧ください。

## 受講生の声 (K.N)

ある日、我が家のポストに入っていた「寺子屋塾」の案内書。「寺子屋塾」という呼び方から、アナログな私でも大丈夫な様な気がした。日常に流され、このままで良いのか、何か行動を起こさないと・・・という思いと日々葛藤しながら、自己啓発の本を読んでもなるほどと思うだけ。池の周囲をぐるぐる廻っていて、ただ時間が無常過ぎていく。

そんな時に飛び込んできた「寺子屋塾」。これだ！と何故だかピンとくるものがあり、いつもは優柔不断な私が、即断即行。ところが申し込んだ後で、どんな人達が受講しているのか、ついていけなかったらどうしようetc...引っ込み思案のもう1人の自分が問いかける。

それが今では、テキストに直接関係があるかな？という事まで質問できるほどである。年齢と共に厚かましくなってきた事実を再確認。「三年早く師につくよりも、三年かけて師を探せ。」学ぶことの楽しさを実感している。

## 受講生の声 (K.I)

「学生時代にもう少し勉強しておけば良かった」とは一度や二度、誰しもが思うことではないでしょうか？

そんな折、近畿大学の寺子屋塾のパンフレットが目に入りました。でも仕事をしていればそうそう時間もとれないし、今更なに勉強するのかという思いで躊躇していましたが、少しでも自分自身を変えてみようと思い、応募しました。

授業を進めていく中で、鈴木先生と仲間達とのディスカッションを重ねていく内に、今まで気が付かなかった事や自分の知らない事が数多くあることに気が付き、学ぶことの楽しさを改めて見出した次第です。自身の人生、ライフスタイル、仕事上でも大いに役立つことが多く、充実した生活を送っています。寺子屋塾に行って本当に良かったと思います。

皆さんも、ほんの少しの勇気と、僅かの時間を割くことで、もっと楽しい人生を手にしませんか。私達と一緒に新しい扉を叩いてみようではありませんか。

さあ、いつやるんですか？「今でしょう!!!」



25年度後期「ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』を読む」を受講する皆さん

## ◇お申込み方法◇

- ① 郵送で  
〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1  
近畿大学日本文化研究所 寺子屋塾 係
- ② FAXで  
F A X : (06) 6721-2533
- ③ E-mailで  
E-mail : terakoya@ml.kindai.ac.jp
- ④ お電話で直接  
電 話 : (06)6730-5880 内線 : 3336  
直通電話 : (06)4307-3096(平日10時~17時)  
※申込書の到着後に詳しい資料を送付させていただきます。

## ◇初日無料体験受講について◇ ※事前申込みが必要です。

日 程	複数受講可
10月7日(火)・10月11日(土)・10月14日(火)	
10月16日(木)・10月18日(土)・10月20日(月)	
10月23日(木)	

- ※初日体験後、2回目以降の講座への参加は正式申込みが必要です。詳しくは、電話でお問い合わせください。
- ※初日体験希望の方は、申込書の受講希望欄の該当箇所にチェック☑を入れてください。
- ※講座により、曜日と時間が異なります。詳しくは、このパンフレットをご確認ください。

## ◇申込締切日(受講および初回無料体験とも)◇

2014年10月6日(月)

## ◇講座教室と受講料◇

計12回・計9回・計6回の3つのコース

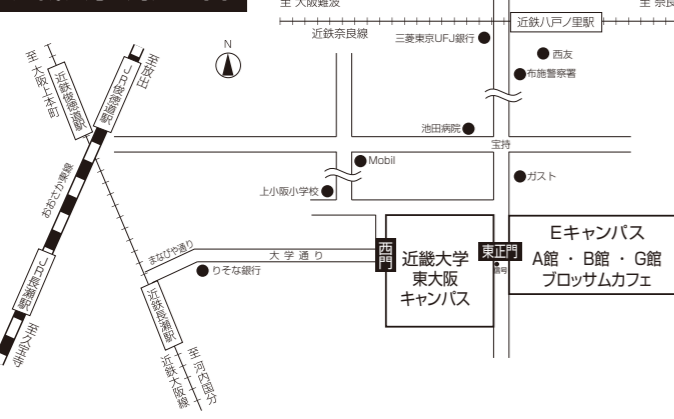
教室：近畿大学東大阪キャンパス内

授業料	計12回講座	20,000円
	計9回講座	15,000円
	計6回講座	10,000円

講義回数が計24回で受講料が4万円になる場合は**3万円に割引**

※テキストや見学科(実費)が必要となる講座もあります。

## 近畿大学 周辺地図



- ・近鉄大阪線「長瀬」駅下車徒歩約10分
- ・近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車徒歩約20分
- ・JRおおさか東線「JR長瀬」駅下車約20分

# 寺子屋塾講座概要 平成26年度：後期講座

二期制

前期：平成26年 4月～9月

後期：平成26年10月～3月

## 月曜日(1講座開講)

講座名：現代資本主義を読むー現代資本主義の危機の地理学的・空間的展開(計9回：毎週)

授業時間：17:00-18:30 初日：10/20 講師：齊藤 日出治(大阪産業大学)

現代世界は、経済の危機が社会の危機、生命の危機、文化の危機、自然の危機と一体となって進行し、人類の滅亡の予感さえ感じさせます。このような現代資本主義がもたらしている破局的な危機を批判的経済地理学の方法を用いて考察するデーヴィッド・ハーヴェイの『コスモポリタニズム』を読みつつ、考えたいと思います。前期に第I部を読みましたので、後期は第II部を読み進めます。



## 火曜日(4講座開講)

講座名：歌をとおして現代の人間と文化について考える(計9回：隔週)

授業時間：18:30-20:00 初日：10/7 講師：清 真人(近畿大学文学部)

9月に『ソング論——ブンとジジの現代カルチャー探究』(はるか書房)という本を出版しますので、それを毎回読んできてもらってディスカッションするというスタイルで、歌をとおして現代の人間と文化について考えます。目次は以下の通り。第I章 ジョン・レノンの転回 第II章 曲 MOTHER 第III章 自分にYesといえ！——ロックンロール・スピリット 第IV章 マイケルと映画『ウエストサイド・ストーリー』 第V章 Who's Bad——マイケルにおける暴力とダンス 第VI章 シンガー・ソングライターの誕生——象徴としてのボブ・ディラン 第VII章 ブルース・シティ大阪——関西フォーク論1 第VIII章 ブルース・テイスト——関西フォーク論2 第IX章 「僕」という主語——森田童子と学生運動 第X章 歌は「生き抜く」という信念、だから民衆の抵抗歌にもなる——ヘイ・ジュード、シュガーマン、存在 第XI章 エロスの神話と引き裂かれた魂——ロック映画『ヘドウィック&アングリィ・インチ』から 第XII章 ディズニーランドへ——プランキー・ジェット・シティーの試み 第XIII章 ボカロと神聖かまってちゃん。



講座名：オールド上海を訪ねてー実作映画で辿る中国現代史(計6回：隔週)

授業時間：14:50-16:20 初日：10/7 講師：好並 晶(近畿大学総合社会学部)

嘗て「魔都」と呼ばれた上海は、各国から無頼者が集い巨万の富を目的に跋扈した無国籍都市でした。映画はこの都市に相応しい、恰好の商売道具だったのです。しかし、中国政局の趨勢に従い、映画は次第にイデオロギー発露のアイテムへと姿を変えていきます。本講座では、政情と共に揺れ動くフィルムのあるようを実作で追いながら、中国現代史をヴィヴィッドに掴んでいくことを目的とします。



講座名：マルティン・ハイデガー『存在と時間』を読む(計9回：隔週)

授業時間：14:50-16:20 初日：10/14 講師：山取 清(近畿大学総合社会学部)

ハイデガーは20世紀初めの時代状況を背に登場し、当時の思想界に大きな衝撃をもたらしました。それから80数年が経過し、混迷の時代と言われる現在、ハイデガーから読み取れるものは何なのか。ハイデガーをてがかりにしながらい現代社会について考えてみたいと思います。初めての方でも歓迎します。



講座名：西田幾多郎とその時代 2ー「自覚」と大正時代(計6回：隔週)

授業時間：13:10-14:40 初日：10/14 講師：高坂 史朗(大阪市立大学)

西田幾多郎の生きた明治・大正・昭和(1870-1945)の時代の近代日本哲学史を通覧しながら、西田の思索の跡をたどる。とくに今期は西田幾多郎の大正時代の思想を吟味し、大正時代の哲学思想との関連を明らかにする。西田の作品としては『自覚に於ける直観と反省』『働くものから見るものへ』が中心となる。受講生のテキストとしては「明治二十四、五年頃の東京文科大学選科」(『西田幾多郎随筆集』岩波文庫)「種々の世界」(『西田幾多郎哲学論集I』岩波文庫)。



どの講座もすべて**初日無料体験**できます。申込・体験詳しくは、裏面をご参照ください。

## 木曜日(3講座開講)

講座名：ハワード・ジン『民衆のアメリカ史』を読む(計12回：毎週)

授業時間：18:30-20:00 初日：10/16 講師：鈴木 伸太郎(近畿大学総合社会学部)

歴史を社会の指導者、富裕な人々、著名人などの視点からではなく、様々な境遇・立場の一般の人々の視点から見直してみると、教科書などで教えられてきたのとは全く異なる印象を受けます。アメリカの歴史をこのような視点から改めて学び直していきながら、日本や世界の国々の歴史や社会に対する感覚を研ぎ澄ませていくことを目指します。テキストはハワード・ジン『民衆のためのアメリカ史』(上・下)明石書店。



講座名：『源氏物語』を原文で楽しく読む(2講座とも計9回：隔週)

授業時間：昼の部 15:00-16:30 初日：10/16 講師：清 百合子(日本中世文学研究者)

授業時間：夜の部 18:20-19:50 初日：10/23 講師：清 百合子

原文を声に出して読んでいきます。音読することで黙読では見過ごしがちな原作の息遣いやリズムを身体的に直接的に味わうことができます。時には登場人物に、時には作者になりきって、平安貴族の愛と苦悩の世界に遊びましょう。瑣末な文法や語釈にこだわらず、場面場面に関連するエピソードを他の古典作品から引用紹介しつつ、楽しく読みすすめます。昼の講座は「蓬生の巻」、から、夜の講座は「螢の巻」から始めます。初めての方には、「これまでのあらすじ」をお渡しします。



## 土曜日(2講座開講)

講座名：マックス・ヴェーバーの世界(計9回：隔週)

授業時間：15:00-16:30 初日：10/18 講師：堀田 泉(近畿大学総合社会学部)

マックス・ヴェーバーの文献を読みながら現代社会について議論していきます。この社会科学上の巨匠は、私たちが生きるにあたっての様々なヒントを提供してくれます。そしてこれからの社会を展望するとき何が不可欠のことかを、そして立ちはだかる問題を示してくれます。ともに考えていきましょう。



講座名：大阪のまち・魅力発見ー古地図片手に大阪のまちあるき(計9回：隔週)

授業時間：13:30-15:00 初日：10/11 講師：田中 晃代(近畿大学総合社会学部)

古地図の読み方や表現を学びながら、実際に地図を片手に大阪のまちをあるき、まちの見方や考え方を学びます。まちあるきのコースやスケジュールなども受講生と共に企画し、まちあるきをしたあとは、その成果をプレゼンテーションします。この講座では、歴史的なまちを歩くことが多いため、坂道や石畳、階段など、地形に段差や起伏があり歩きにくい場合があります。



※募集定員に達しない場合は、講座を開講しないことがありますのでご了承ください。

※都合により日程等変更の場合があります。

※迷惑行為等があった場合は、受講をお断りする場合があります。